

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価計画

達成度(評価)

- A: 十分達成できている
- B: おおむね達成できている
- C: やや不十分である
- D: 不十分である

学校名 太良町立多良小学校

1 前年度 評価結果の概要
 ・教育活動の基盤として、「落ちついた学校づくり」に全職員、全保護者で取り組み、具現化できつつある。特別な支援が必要な児童についても、組織的な対応や取組ができてきている。
 ・各フロアを一つのグループとして、教育活動の実践や検証を行うというスタイルが定着してきている。
 ・学習、生活の両面において、めあてを意識し、根気強く取り組む活動(めあて・活動・振り返り)を充実させようとする職員の意識の向上と実際の取組が見られるようになってきた。

2 学校教育目標
 「大人も子どもも、目指すは、“とことん学び続け、とことん学び合う人”～生涯学びの基礎づくり(学びの習慣づくり)～

3 本年度の重点目標
 ・「教育基盤の確立」：教育活動のすべてを学びの機会と捉え、子ども達の活動時間を確保した上で、自分の“成長”“伸び”“変容”を実感させることで、一人一人が自分の力を発揮し輝くことができる教育活動を行っていく。
 ・「学力の向上」：『めあて・活動・ふりかえり』の学びの習慣を身につけさせ、学力向上の基盤となる、言語力の向上に向けた取組を、国語科を中心に、全教科・全領域、学校行事等で行う。(子ども達の話す、聞く、書く、話す場面を増やす。)

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				達成度(評価)	達成度(評価)	達成度(評価)	達成度(評価)			
●学力の向上	○授業改善の推進 ○学習意欲の向上と言語活動の充実 ○基礎学力の向上	・授業改善を進めた教師の割合90% ・授業が分かると思えた児童の割合90% ・授業や学校行事の中で自分の考えを話したり、書いたりすることができると思えた児童の割合80% ・授業ではめあてに向かって、最後まで諦めずに取り組むことができた児童の割合80%	・学習状況調査・CRTの分析と活用 ・ICT(タブレット)の活用と隙間読書の奨励 ・ノートグランプリや音読コンクールなど児童の学習意欲が高まるイベントの企画 ・「授業づくりのステップ1・2・3」を踏まえ、校内研や定期的なフロア研修の中で振り返りや情報交換を行う							井上・吉田・学力PJ
	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	・困っている人や周りの人によさくできていると思う児童90%以上。 ・人権集会や全校集会を通して人権について深く考えることができたと思う児童80%以上。	・道徳教育(ふれあい道徳)の充実 ・人権週間及び人権集会の実施と振り返りシートへによる意識付け							田中・山崎・中島・里見生活PJ
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	・学校で誰かに相談できると答える児童の割合90%。 ・いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員の割合を増やす。	・いじめ防止基本方針の確認と見直し ・年間計画に基づいたいじめ防止対策の実施 ・いじめ防止に関する研修(長期休業) ・教育相談週間の実施。心のアンケートや学習生活についてのアンケートの実施による実態把握。職員アンケートの実施							永石・中島・教頭・生活PJ
	●◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童の割合90% ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童の割合85%	・きらめきカードを学期に1回(6月、11月、2月)取り組み、担任は児童にフィードバックを行う。 ・キャリアパスポートを活用し、夢や目標を意識する機会を設ける。							森田・特活PJ・各担任
●健康・体づくり	○児童自身が、自分のよさや可能性を認識し、自己肯定感・有用感を育む教育活動	・自分には良いところがあるといえる児童の割合80%	・特活行事(運動会、学習発表会等)の後ふりかえりを行い、児童一人一人の頑張りを賞賛し、自己肯定感を高める。							山崎・特活PJ・全職員
	②「望ましい生活習慣の形成」 ⑤「健康・安全を考慮して行動できる能力の育成」	②早寝・早起き、朝ごはん(朝食)を心掛けていると回答した児童の割合80%以上。 ⑤校内外で安全な生活を送ろうとしている児童の割合80%以上。	②6月と11月の食育月間での指導、確認 ②食育授業の全学年実施と栄養教諭による給食指導 ②長期休業明けの生活チェックカードの実施。 ⑤集会での生活指導。 ⑤地区児童会での指導。 ・児童アンケートの実施。							福田・中島・永尾・生活PJ
	○運動・スポーツへの関心拡大と積極的な関わり促進	・運動・スポーツをすることが楽しいと回答した児童の割合80%	・スポーツチャレンジへの積極的な参加 ・体育科の授業を中心として様々な運動・スポーツに親しむ							秀・堀・特活PJ
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を全職員遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日の設定 ・協働体制づくりと業務見直し・改善 ・教育課程及び校時運行の見直しによる時間の確保 ・「多良小学校教育のてびき」を作成し、業務の見える化を図る							校長・教頭
●特別支援教育の充実	○自立に向けた特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上。特別な支援を要する児童への対応力の向上	・特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員の割合の増加	・特別支援教育に関する職員研修の実施 ・ケース会議の開催、関係者間での情報共有							里見・秀
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○学校と地域等の連携強化	○児童、学校、保護者、地域、行政等、五者間連携の活動促進	○地域学校協働活動への参画意識の向上と参画した地域住民、保護者等の増加	・学校行事、校外活動、日常の教育活動へのボランティア参加(保護者、地域の方)。 ・学校行事参加の依頼、呼びかけ、宣伝。 ・PTA共催“ひつきやで子育て”大茶話会の開催。 ・気軽に学校に足を運べるような働きかけ。							校長、教頭、教務、各担任、地域連携CO

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望